

こうち福祉だより

336号
平成27年7月
(2015年7月)
河内地区社会
福祉協議会発行

第二次福祉のまちづくりプラン 支え合う福祉のまちづくり

少子高齢化時代を迎えた戦後70年の節目の年にあたり、他地区に先がけて、第二次福祉のまちづくりプラン「支え合う福祉のまちづくり」をスローガンに掲げて、

- 一、地域福祉活動の推進
 - 二、助け合う活動の推進
 - 三、支え合い輪づくり支援
 - 四、相談援助機能強化
- を五力年で達成することを目標にしています。

平成27年度の重点取り組みは、
①高齢者が喜んでもらえる敬老会の開催

②高齢者の福祉委員参加促進

③長寿会の復活・高齢者の活性化促進

④電動車椅子生活ができる道整備
を最優先課題として、担当責任者を定めて推進致します。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

なお、重点取り組みにつきましては、次のように推進してまいります。

社会福祉協議会会長 田中秋好

①高齢者が喜んでもらえる 敬老会の開催

敬老会の対象者の式典への出席率が、毎年約30%で推移しています。また、出席者の顔ぶれも、ある程度固定化されています。そのような現状の中で、少しでも多くの方に、敬老会への出席をしていただき、今後も敬老会を継続していけるように、アイデアを出し合っていくと考えています。

喜んでもらえる敬老会の開催のための調査として、出席者・欠席者それぞれの視点からのアンケート調査を実施します。同時に、出席者が参加できるようなアトラクションの企画なども検討していきます。

お手数を掛けますが、アンケート調査への協力をよろしく願います。

文化厚生部長 寺尾 康博

②高齢者の福祉委員 参加促進

具体的には、元気な高齢者の福祉委員参加促進が重要なテーマです。5年間の取り組みの中で、今年度実施するのは、下記の内容になります。

③長寿会の復活・高齢者の 活性化促進

高齢者への見守りとふれあいのできるまちづくりを取り組めます。

いきいきサロンの充実

給食配膳

健康教室の開催

取り組みは、高齢者のみなさんが自ら活動し、お互いが助け合いながら生きがいをもって生活できるように、様々な手段にて支援していきます。

窓山荘の利用拡充

長寿会への支援

在宅福祉部長 稗田恭子



第二次福祉のまちづくりプラン
～支え合う福祉のまちづくり～

④電動車椅子生活が できる道整備

この事業を進めるにあたり愛称を「しあわせの道づくり」活動と称し、障がい者・高齢者が地域活動に安全・安心して参加できる環境づくりを目指しています。

★大きく傾斜して
いる所

★路面に穴が
ある所

★路面に段差が
ある所

★歩道の狭い所

などを各町内会で調べていただき、改善の優先順位を話し合い決めて、要望書を区役所に前期中に提出し、早期整備ができるよう推進致します。



*ご意見・ご要望等は、各担当者・社協部員・まちづくりひろばまでお寄せください。(電話は、月・水・金の午前中)

☎・FAX 082(928)0219



総務部長 三宅 満